

研究略歴

〔 最終学校卒業後の研究履歴を現在から順に年度をさかのぼって記入してください。その際、どのような研究を行ってきたのか、研究内容とともに特筆すべき事項（受賞歴等）を簡潔に記入してください。 〕

文部科学省科学研究費補助金の考え方は、既に行われている研究に対して、より推進できるように補助するものであり、研究を行うための基本的資金ではありません。したがって、ここに記載された研究計画は、学内で承認され、実行に移されることが確定したものでなくてはなりません。すなわち、少なくとも今回の申請対象の平成20年度の計画に関しては、該当する委員会で承認されている必要があります。最低限、申請を済ませている必要があります。そして、この欄に承認済み、あるいは申請中と記載していなければなりません。

人権の保護及び法令等の遵守への対応

（該当者は必ず記述してください（平成20年度文部科学省科学研究費補助金の公募要領7頁参照））

〔 本欄には、本研究に関連する法令等を遵守しなければならない研究（社会的コンセンサスが必要とされている研究及び生命倫理・安全対策に対する取組が必要とされている研究等）を含む場合に、どのような対策と措置を講じるのか記入してください。 〕

本研究計画に含まれる遺伝子組換え実験については、研究計画を東邦大学遺伝子組換え実験安全委員会に申請し、承認（承認番号 ××）を受けている。動物実験については、研究計画を東邦大学動物実験委員会に申請し、承認（承認番号 ××）を受けている。

本研究計画に含まれる疫学研究については、研究計画を東邦大学医学部倫理委員会に申請し、承認（承認番号 ××）を受けている。

本研究計画に含まれるヒト・ゲノム遺伝子解析研究については、研究計画を東邦大学医学部遺伝子解析研究倫理審査委員会に申請し、承認（承認番号 ××）を受けている。

研究経費の妥当性・必要性

〔 本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。また、各費目（設備備品費、旅費、謝金等）が全体の研究経費の90%を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。 〕